

管内経済情勢報告(令和8年7月)

総括判断  **緩やかに持ち直している** (7期連続据え置き)

個人消費  「緩やかに持ち直している」 (7期連続据え置き)

- スーパー  : 果物や総菜等の飲食料品が堅調であることから、全体としては堅調となっている
- コンビニエンスストア  : 飲料やファーストフードに動きがみられることから、全体としては堅調となっている
- 家電大型専門店  : エアコンに動きがみられることから、全体としては好調となっている

生産活動  「一進一退の状況にある」 (据え置き)

- プラスチック  : 堅調な需要を背景に、緩やかに持ち直しつつある
- 食料品  : 一部に弱さがみられることから、横ばいの状況にある
- 窯業・土石  : 国内向けの需要が低調となっていることから、弱い動きとなっている

雇用情勢  「持ち直しつつある」 (15期ぶり上方修正)

- 有効求人倍率 : 上昇している
- 法人企業景気予測調査 : 従業員数判断 BSI をみると、6月末は全産業で 31.8%ポイントと「不足気味」超となっており、企業の人手不足感は続いている

【問い合わせ先】

四国財務局 財務広報相談室
TEL087-811-7780(内線:260)
四国財務局 経済調査課
TEL087-811-7780(内線:250)